

厚木の春の風物詩

「第60回あつき飯山桜まつり」を開催



初日は約4000人が訪れた

厚木に春の訪れを告げる「あつき飯山桜まつり」を、飯山白山森林公園で開催しました。祭りは、今回で60回目。観光振興や市民の交流を目的に、市や飯山観光協会などでつくる実行委員会が主体となり実施しています。開花が始まったサクラの下で太鼓演奏やダンスショーなどが繰り広げられた他、夜には桜のライトアップが実施され、来場者を楽しませました。

家族で訪れた栗山咲良さん（長谷）は「飯山桜まつりに参加したのは2回目で、久しぶりの開催をずっと楽しみにしていた。サクラは開花したばかりだが、飯山白龍太鼓などのイベントでにぎわいがあった楽しい」と笑顔を見せていました。

地域での移動を快適に

コミュニティー交通「森の里ぐるっと」の新車両が運行開始

森の里ぐるっとを運行する協議会の神保忠男会長は「地域の足として、多くの皆さんに利用してほしい」と話し、森の里3丁目自治会の原田充治会長（68・森の里）は「地域内の移動をサポートしてもらえるのはありがたい。今後もぜひ続けてほしい」と期待を込めました。



公民館を出発する新車両

地域の移動手段として2011年から運行を開始。運行継続のため、4月から市が支援を始めました。今導入された車両は、乗客定員が5人から8人に増えた他、サイドステップを装備しより快適に乗りこえるようになっていきます。

地域住民主体のコミュニティー交通「森の里ぐるっと」の運行開始式が4月、森の里公民館で開かれました。市民の皆さん約50人を前に、新車両がお披露目されました。「森の里ぐるっと」は、無料で乗れる地域

子どもたちの健やかな成長を願って

小鮎保育所の建て替えが完了

老朽化などで昨年8月から建て替え工事を進めてきた市立小鮎保育所が3月に完成し、4月から運用が始まりました。新しい保育所は、新たに一時預かり室や相談室を設置するなど、地域の子育て世帯にも開かれた施設となるよう整備しました。子どもや保育士、保護者など、誰もが快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた他、カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーや生ごみ処理機を導入。環境への負荷が少ない施設にしました。



竣工式では小鮎保育所の子どもたちとテープカットを実施

山口市長は「快適さや環境に配慮した施設ができてうれしい。子どもたちが元気いっぱいに過ごす姿を見るのが楽しみ」と話しました。



新鮮な地場農畜産物などがずらり

荻野運動公園で「夕焼け市」がスタート

市内で生産された新鮮な野菜や加工品などを販売する「夕焼け市」が、荻野運動公園で始まりました。春キャベツやトマトなどの地場農畜産物やカレー、豆腐などを取り扱う19店舗が出店。目当ての商品を買い求める多くの来場客でにぎわいました。夕焼け市は10月30日までの毎週水曜、17時から1時間程度開催。夏野菜収穫フェア（6月）、納涼フェア（8月）など、季節に合わせたイベントも予定しています。



開催初日には約700人が訪れた

夕焼け市出店者組合の大貫浩一組合長は「今年も開催を心待ちにしていた。これから半年間、買い物を楽しんでもらえれば」とあいさつ。会場を訪れた北島ケイミさん（78・鳶尾）は「毎年夕焼け市を楽しみにしている。お手頃な価格で新鮮な地場野菜が買えるのでうれしい」と笑顔で話しました。

最終回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 みんなで取り組もう



あつき気候市民会議の成果はCNプラットフォームなどに掲載

市民協働提案事業「あつき気候市民会議」には多くの皆さんに参加いただきました。3月にはCNに向けた市民の行動計画が完成し、これから「CNあつき未来プロジェクト」として、活動を広めていきます。

小さなこともみんなで取り組むと、大きな成果につながります。皆さんも活動に参加するなど、できることから始めてみませんか。

CNプラットフォームでは、市民の行動計画やCNあつき未来プロジェクトの取り組みなどを公開。



環境政策課 ☎225-2749



表彰式で市長賞などを受賞された皆さんと

写真での魅力発信を目的に作品を募集した「広報写真コンクール」の表彰式を3月に開催しました。103点の中から市長賞に輝いた写真は、市外の方が厚木に足を運び撮影されたものです。多くの皆さんが厚木の魅力を探し、「あつき愛」を持って応募いただいたことに感動しました。厚木には自然やイベント、温泉、食などさまざまな魅力があります。私も市民の皆さんと交流する中で、生まれ育ったまちの新しい魅力に気

タイプロモーションを推進していきます。厚木に行ってみよう、住んでみたい、住み続けたいと思ってもらえるような、魅力発信に力を入れていきます。広報紙や市ホームページでは厚木を知り、好きになってもらえるような情報発信に努めていきます。良いと感じたものはSNSなどですぐに発信し、共有できる時代です。皆さんの視点から見たまちの魅力を一緒に発信していければと思います。

つかされる機会が多くありました。このまちにまだ眠っている魅力を掘り起こし、新たな厚木の宝として皆さんと一緒に発信していきたいと考えています。市では今後、PR動画の作成やSNSを使った広告事業、市の魅力を伝えるアンバサダーの起用など、戦略的なシ